

## 満開後使用制限適用変更

# Q & A

- Q 1. 満開後の新梢伸長抑制を目的に散布できる品種は何ですか？  
 A 1. 「シャインマスカット」、「ピオーネ」と「ナガノパープル」です。  
**「シャインマスカット」、「ピオーネ」、「ナガノパープル」とともに満開10日～20日後までの散布が可能です。**
- Q 2. 満開後の新梢伸長抑制で使用できる希釈倍率、水量、散布方法はどのようになっていますか？  
 A 2. 「シャインマスカット」、「ピオーネ」、「ナガノパープル」の500倍150L/10aは手散布を想定した登録です。  
**「シャインマスカット」、「ピオーネ」の1000倍300L/10aはスピードスプレーヤー散布を想定した登録です。**
- Q 3. 満開後の副梢の伸長抑制を目的にした散布は可能ですか？  
 A 3. **可能です。新梢伸長抑制には、副梢の伸長抑制も含まれています。**
- Q 4. どの品種も2回使えるのですか？  
 A 4. **デラウェアに関しては、従来通り、1回しか使えません。その他の大粒品種は全て2回以内で使用できます。**
- Q 5. デラウェア以外の品種についてはどのような使い方になりますか？  
 A 5. 「シャインマスカット」、「ピオーネ」、「ナガノパープル※」については以下の使用が可能です。  
 ① 展葉7～11枚時(開花始期まで)で1回 → 満開10～20日後で1回 合計2回  
 ② 展葉7～11枚時(開花始期まで)で1回散布直後降雨での散布し直し1回 合計2回  
 ※ 降雨による影響が無く、同じ使用時期での2回散布は、生育抑制が強く現れる可能性が高いので、お勧めできません！  
**「巨峰」等満開後の登録が無い品種では以下の使用が可能です。**  
 ① 展葉7～11枚時(開花始期まで)で1回散布直後降雨での散布し直し1回 合計2回  
 ※ 降雨による影響が無く、同じ使用時期での2回散布は事例が無く、生育抑制が強く現れる可能性が高いので、お勧めできません！
- Q 6. 「シャインマスカット」について、満開10～20日後の散布でお勧めの散布時期はいつですか？  
 A 6. **2回目のジベレリン処理が終わってからの時期(15～20日頃)です。**  
**詳しくは、都道府県の指導機関にお問い合わせください。**
- Q 7. 「ピオーネ」について、満開10～20日後の散布でお勧めの散布時期はいつですか？  
 A 7. **生育が緩慢な寒冷地は、満開後15～20日です。暖地に関しては、満開20日頃です。**  
**詳しくは、都道府県の指導機関にお問い合わせください。**
- Q 8. 満開後の散布で果粉の溶脱は認められますか？  
 A 8. 「シャインマスカット」、「ピオーネ」、「ナガノパープル」とともに各県試験場で実施された委託試験において、**果粉の溶脱は認められていません。**
- Q 9. フラスター液剤を使うにあたって注意することはありますか？  
 A 9. **フラスター液剤は、効果の出方が樹勢と大きく関係します。**  
**樹勢が弱い新梢に散布すると、新梢の伸長が停止し、必要な葉面積が確保できない場合があります。**  
 a) 樹園全体の樹勢が強い場合は、登録の低希釈倍率(高濃度)で、  
 逆に樹園全体の樹勢があまり強くない場合は、高希釈倍率(低濃度)で散布してください。  
 b) 新梢の生育にばらつきがある場合は、生育が旺盛な新梢を中心に散布して下さい。  
 c) 樹勢が弱い新梢ばかりの場合は、フラスター液剤を散布しないでください。  
**詳しくは、都道府県の指導機関にお問い合わせください。**
- Q 10. フラスター液剤の薬害事例はありますか？  
 A 10. **通常の使用では、薬害は観察されておりません。ただし、葉の部分的淡緑化の後、部分褐変が見られた場合があります。**  
**しかし、落葉はなく、その後の生育、収量への影響も報告されておりません。**

2021/10/27 改定


**日本曹達株式会社**

- ★使用前にはラベルをよく読んでください。
- ★ラベルの記載以外には使用しないでください。
- ★小児の手の届く所には置かないでください。
- ★使用後の空容器は圃場などに放置せずに適切に処理してください。